

## 調査票・単純集計データ



<ご回答にあたってのお願い>

- ご回答をお願いした方ご自身名義で保有する金融商品についてお答えください。
- 預貯金など、ご家族で共有して持ち分の区分が困難な金融商品の金額についてお尋ねする質問については、ご自分の持ち分と思われる金額をお答えください。
- 質問にしたがって、選択肢のあてはまる番号に○をつけてください。
- 金融商品ごとにご回答いただく質問では、下表の区分に従ってお答えください。

**【主な金融商品・取引一覧表】**

・ 預貯金	→	銀行預金（円貨、外貨）、ゆうちょ銀貯金（郵便貯金）など
・ 信託	→	貸付信託、金銭信託、教育資金贈与信託、遺言信託など
・ 株式	→	株式（株式ミニ投資、株式累積投資、従業員持株制度を含む）、新株予約権など（外国で発行されたものを含む）
・ 投資信託	→	株式投資信託、公社債投資信託、MMF、MRF、ETF（上場投資信託）、不動産投資信託（REIT）など（外国で発行されたものを含む）
・ 公社債	→	国債、地方債、社債、転換社債、金融債、仕組債など（外国で発行されたものを含む）
・ 有価証券関連デリバティブ商品	→	有価証券関連の先物取引、オプション取引、CFD取引、バイナリー・オプション取引など（日経 225 先物、JPX日経 400 先物、日経 225 オプション、日経 225mini など）
・ 有価証券関連デリバティブ商品 以外のデリバティブ商品	→	外為証拠金取引（FX）、CFD取引、バイナリー・オプション取引、商品先物取引など

# 〔1〕 金融商品の保有実態や金融商品への意識などについて お伺いします。

## 【全員にお伺いします。】

問1 次の金融商品のうち、あなたが現在保有しているものをお答えください。ご回答にあたっては、前ページに記載の【主な金融商品・取引一覧表】をご参照ください。（いくつでも）【n=7,000】

1. 預貯金（普通預金、当座預金や定期預金など）	91.1
2. 信託	1.4
3. 株式	15.8
4. 投資信託	15.0
5. 公社債	2.6
6. 有価証券関連デリバティブ商品	0.3
7. 有価証券関連デリバティブ商品以外のデリバティブ商品	0.5
8. その他（具体的に	0.9
9. いずれも持っていない →選択肢「9」を選んだ方は、問8へお進みください。	7.9

(NA:0.0)

## 【いずれかの金融商品をお持ちの方に（問1で、「1～8」に○印の方）】

問2 あなたが現在保有している金融商品の合計額はいくら位ですか。預貯金・信託以外については時価でお答えください。（1つだけ）【n=6,445】

1. 10万円未満	8.7	6. 500～1,000万円未満	14.5
2. 10～50万円未満	11.3	7. 1,000～3,000万円未満	11.4
3. 50～100万円未満	11.5	8. 3,000～5,000万円未満	2.5
4. 100～300万円未満	19.3	9. 5,000万円以上	1.1
5. 300～500万円未満	13.2		

(NA:6.7) [平均値] 647.3万円

問3 そのうち、有価証券（株式、投資信託、公社債）の保有額（問1の選択肢3・4・5に該当する商品の合計額）はいくら位ですか。時価でお答えください。（1つだけ）【n=6,445】

1. 10万円未満	3.1	6. 500～1,000万円未満	3.8
2. 10～50万円未満	3.3	7. 1,000～3,000万円未満	2.7
3. 50～100万円未満	3.7	8. 3,000～5,000万円未満	0.6
4. 100～300万円未満	6.1	9. 5,000万円以上	0.3
5. 300～500万円未満	3.1	10. 有価証券は保有していない	70.0

(NA:3.3) [平均値] 575.3万円

問4 あなたは、月々の収入、及びボーナスから、それぞれ何パーセント位を金融商品（預貯金で、日常的な入出金、口座引落しに備えた部分を除きます。）にまわしていますか。（それぞれ1つずつ）【n=6, 445】

		1～ 10% 未満	10～ 20% 未満	20～ 30% 未満	30～ 50% 未満	50% 以上	金融商品 にはまわし ていない	該当する 収入は ない	(NA)	〔平均値〕
a.	月々の収入は (給与・年金など(注)) →	26.7	13.8	5.1	2.9	2.9	31.0	16.6	0.9	14.8
b.	ボーナスは →	10.9	5.5	3.2	2.3	3.8	18.5	53.7	2.2	20.9

(注) 月々の収入の具体例は212ページの設問F5をご参照ください。

問5 預貯金や有価証券などの金融商品を保有する目的をお答えください。（いくつでも）【n=6, 445】

1.	将来・老後の生活資金	68.3
2.	子供や孫の教育資金	23.6
3.	住宅の取得や結婚などのライフイベント費用の捻出	7.4
4.	耐久消費財（自動車、家電など）やレジャー（スポーツ、旅行など）費用の捻出	23.4
5.	将来の不測の事態（病気、失業、自然災害など）への備え	34.2
6.	現金の盗難対策	3.4
7.	その他（具体的に	1.0
8.	特に目的はない	15.8

(NA:0.5)

問6 あなたは、金融商品のどのような点を重視しますか。（いくつでも）【n=6, 445】

1.	利回りが良いこと	28.1
2.	いつでも出し入れができること	43.6
3.	元本が安全なこと	35.8
4.	値上がり期待できること	14.5
5.	税金面で有利になること	8.9
6.	各種料金の自動引落などに利用できること	8.1
7.	インターネット（パソコン、スマートフォン等）で取引できること	11.5
8.	その他（具体的に	0.5
9.	特に重視していることはない	23.8

(NA:0.7)

問7 あなたは今後、有価証券（株式、投資信託、公社債）を購入したいと考えていますか。

（それぞれ1つずつ）【n=6, 445】

		今後1年以内に 購入したい	時期は未定だが 購入してみたい	今のところ 購入するつもりは ない	(NA)
a.	株式 →	7.6	12.9	78.8	0.7
b.	投資信託 →	7.9	13.1	78.2	0.8
c.	公社債 →	1.0	5.2	92.8	1.1

**【全員にお伺いします。】**

問8 あなたが興味を持っている金融商品を、現在保有しているものも含めてお答えください。  
(いくつでも) 【n=7,000】

1. 預貯金	54.7
2. 信託	4.1
3. 株式	21.6
4. 投資信託	20.7
5. 公社債	3.1
6. 有価証券関連デリバティブ商品	0.8
7. 有価証券関連デリバティブ以外のデリバティブ商品	0.7
8. その他 (具体的に )	1.0
9. 興味を持っている金融商品はない	32.1

(NA:0.5)

問9 あなたは、資産を増やすために、証券投資（株式・投資信託・公社債への投資）が必要だと思いますか。(1つだけ) 【n=7,000】

1. 必要だと思う	42.6	→選択肢「1」を選んだ方は、問10へお進みください。
2. 必要とは思わない	57.1	→選択肢「2」を選んだ方は、問13へお進みください。

(NA:0.2)

**【「証券投資が必要」とお答えの方に（問9で、「1」に○印の方）】**

問10 必要だと思う理由は何ですか。(いくつでも) 【n=2,985】

1. 将来・老後の生活資金として準備できるから	64.5
2. 現在の保有額では将来の生活に不安だから	35.6
3. 預貯金だけでは十分な利息を期待できないから	58.9
4. 将来のインフレに備えることができるから	21.4
5. その他 (具体的に )	1.3
6. 特に理由はない	3.4

(NA:0.0)

問11 あなたは証券投資について、どのような内容を知りたいと思いますか。(いくつでも) 【n=2,985】

1. 口座開設や金融商品の売買方法に関する具体的な方法	28.6
2. 投資対象となる商品の種類・仕組み・リスクやリターン	44.8
3. 実際に投資をしている人のノウハウややり方・投資額	27.8
4. 自分に適した投資の商品・スタイル	41.2
5. 証券税制の仕組み (NISAを含む)	28.7
6. 経済に関する全般的な知識	21.8
7. 投資のリスクを減らす方法	29.3
8. 既に投資をしている人達の成功談・失敗談	14.7
9. 投資を始めるにはどの程度の資金が必要か	13.2
10. 知識があるため知りたい内容はない	3.1
11. 知りたいとは思わない	6.5
12. わからない	7.7

(NA:0.6)

問 12 あなたは証券投資に関する知識を習得する場合、どのような方法が良いと思いますか。(いくつでも)

【n=2, 985】

1. 中立的な機関（大学・金融団体・証券取引所など）が実施する無料のセミナーへの参加	30.6
2. 国や地方公共団体が運営する公的な機関が実施する無料のセミナーへの参加	23.8
3. 職域（勤務先の企業等）での情報提供	9.9
4. 証券会社や金融機関などが実施するセミナーへの参加	16.8
5. 証券会社や金融機関などの担当者からの説明	20.9
6. 証券会社や金融機関などの冊子やパンフレットからの情報	10.0
7. 中立的な機関や証券会社、金融機関などからのインターネットを通じた情報	20.3
8. SNSやインフルエンサーによるインターネットを通じた情報	17.4
9. 金融専門誌や書籍からの情報	15.6
10. 新聞やテレビ、ラジオからの情報	17.7
11. 周囲の投資経験者からの意見やアドバイス	22.4
12. わからない	13.9

(NA:0.3)

※ 回答後、問 14 へお進みください。

【「証券投資は必要ない」とお答えの方に（問 9 で、「2」に○印の方）】

問 13 必要と思わない理由は何ですか。(いくつでも) 【n=3, 999】

1. 損する可能性があるから	43.2
2. 価格の変動に神経を使うのが嫌だから	26.3
3. ギャンブルのようなものだから	25.3
4. 証券投資をするためのまとまった資金がないから	21.2
5. 金融や投資に関する知識を持っていないから	26.8
6. 周りに証券投資をしている人がいないから	5.3
7. 将来・老後の生活資金は十分持っているから	2.2
8. インフレにならないと思うから又はインフレの影響は大きくないと思うから	0.6
9. その他（具体的に )	3.5
10. 特に理由はない	27.7

(NA:0.9)

## 〔2〕 金融商品の知識などについてお伺いします。

### 【全員にお伺いします。】

問 14 あなたは、これまで学校、職場や家庭などで証券投資に関する教育を受けたことがありますか。  
(1つだけ) 【n=7,000】

1. 受けたことがある	7.5	→ 問15へ
2. 受けたと思うが、あまり覚えていない	9.0	→ 問15へ
3. 受けていない	83.4	→ 問16へ

(NA:0.1)

### 【教育を受けたことがある、または、受けたと思うがあまり覚えていない方に（問14で「1」または「2」に○印の方）】

問 15 証券投資に関する教育をどこで受けましたか。（いくつでも） 【n=1,154】

1. 学校	33.4
2. 職場	41.7
3. 家庭	8.1
4. 中立的な機関（金融団体・証券取引所など）	6.8
5. 国や地方公共団体が運営する公的な機関	1.6
6. 証券会社や金融機関など	20.4
7. その他（具体的に )	2.6

(NA:1.0)

### 【全員にお伺いします。】

問 16 日々の生活に関連した金融の基礎知識や経済の仕組みについて、あなたはいつ頃から学び始めるべきだと思いますか。（1つだけ） 【n=7,000】

1. 小学校入学前から	1.4
2. 小学校から	18.6
3. 中学校から	29.8
4. 高等学校から	25.5
5. 大学・専門学校から	5.5
6. 社会人から	10.5
7. その他（具体的に )	0.8
8. 必要ないと思う	7.7

(NA:0.2)

問 17 あなたは、証券投資全般についてどのようなイメージをお持ちですか。（いくつでも） 【n=7,000】

1. 資産を増やせる	34.0	7. お金持ちがやるもの	23.5
2. 将来・老後の生活資金の蓄えに役立つ	29.9	8. ギャンブルのようなもの	26.0
3. 勉強になる	15.3	9. 詐欺に遭うおそれがある	13.7
4. 社会貢献に役立つ	3.4	10. なんとなく怖い	27.2
5. 面白そう	4.5	11. しつこく勧誘される	10.2
6. 難しい	53.1	12. その他（具体的に )	2.0

(NA:0.4)

問 18 あなたが安心して証券投資を行ううえで、特に強化すべきと思うことは何ですか。（いくつでも）  
【n=7,000】

1. 不公正な取引などへの厳格な対応	40.6
2. 金融商品の特徴や手数料などについての分かりやすい説明	45.2
3. 高齢者などへの適切な勧誘ルール	22.8
4. 悪質な業者・営業員の取締り・排除	44.1
5. 上場企業に対するチェック機能の強化	9.0
6. 金融・証券に関する知識習得の支援	27.5
7. 金融商品の特徴や留意点などを無料で相談できる窓口の提供	20.4
8. 購入後のアフターフォロー	29.6
9. その他（具体的に	4.2

(NA:2.2)

問 19 あなたは、証券投資をする場合、「長期投資」・「積立投資」・「分散投資」(注)が、リスクを減らすために有効な方法であることをご存知ですか。（1つだけ）【n=7,000】

1. 知っている	19.5
2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない	28.1
3. 知らない（聞いたこともない）	52.1

(NA:0.3)

(注) 「長期投資」は、じっくりと資産形成するために長期にわたって金融商品を保有し続ける投資方法です。長く保有すれば、リターンの変動幅が小さくなり、安定した収益を得ることが期待できます。

「積立投資」は、自分が決めたタイミング・金額で定期的に金融商品を購入する投資方法です。あらかじめ自分で設定した内容で投資することで、購入価格の安定化が期待できます。

「分散投資」は、投資先や購入する時期を分散させることで、価格の変動を抑え、安定したリターンを狙う投資方法です。

問 20 あなたは「ESG投資」(注)についてご存知ですか。（1つだけ）【n=7,000】

1. 内容を知っており、ESG関連金融商品に投資したことがある	0.7
2. 内容を知っており、かつ興味もあるが、ESG投資を行ったことはない	1.8
3. 内容は知っているが、特に興味はない	3.1
4. ESG投資という手法があることは知っているが、内容まではよく知らない	7.4
5. 知らない（聞いたこともない）	86.7

(NA:0.4)

(注) 「ESG投資」とは、環境(Environment)・社会(Social)・企業統治(Governance)の要素を考慮した投資を言います。

問 21 あなたは以下の機関をご存知ですか。（それぞれ1つずつ）【n=7,000】

		業務内容を含め 知っている	名前を知っている 程度	知らない	(NA)
A.	証券取引等監視委員会 →	5.1	31.4	63.1	0.4
B.	日本投資者保護基金 →	1.6	10.5	87.3	0.6
C.	日本証券業協会 →	4.0	28.4	67.0	0.6
D.	東京証券取引所 →	15.7	54.2	29.6	0.5
E.	証券・金融商品あっせん 相談センター (F I N M A C) →	1.2	8.3	90.0	0.6
F.	金融経済教育推進機構 (J - F L E C) →	1.0	6.3	92.2	0.5

(注) 上記機関の主な業務は以下のとおりです。

- A. 証券取引等監視委員会…日常的な市場監視や証券会社等に対する証券検査、インサイダー取引等の不正取引についての取引調査、有価証券報告書虚偽記載等の不正会計等についての開示検査のほか、取引の公正を害する悪質な違反行為に対する犯則調査等を行う機関です。また、市場において不正が疑われる情報や投資に関する詐欺行為等の情報を幅広く受け付けています。
- B. 日本投資者保護基金…証券会社が経営破たんした際に、顧客から預かっていた有価証券・金銭 (=顧客資産) の返還が困難になってしまった場合に、一人あたり上限 1,000 万円の範囲で金銭による補償を行う機関です。  
(なお、そもそも証券会社は、顧客資産を自社の資産と区別して管理することが法律上義務付けられています。これを「分別管理義務」といいます。証券会社に預けてある顧客資産は分別管理義務と投資者保護基金による補償制度の二重のセーフティーネットにより守られています。)
- C. 日本証券業協会…証券会社及び銀行等の登録金融機関を協会員として、①自主規制業務 (協会員に適用される規則の制定・実施、監査、制裁等)、②金融商品取引業及び金融商品市場の発展に資する業務 (調査研究、意見表明、金融知識の普及啓発、統計の公表等)、③国際業務と国際交流 (国際会議への参加、日本市場の海外プロモーション等) を主な業務とする機関です。
- D. 東京証券取引所…株式等の有価証券の売買を行うための市場施設の提供、相場の公表及び有価証券の売買の公正の確保等に係る業務を行う機関です。
- E. 証券・金融商品あっせん相談センター (F I N M A C) …株や投資信託、F X など金融商品の取引に関するトラブルについて、相談や苦情を受け付け、公正・中立な立場で解決を図る機関です。相談・苦情処理で利用者の納得が得られない場合の制度として、弁護士による紛争解決のためのあっせん制度も運営しています。
- F. 金融経済教育推進機構 (J - F L E C) …幅広い年齢層に向け、国民各々のニーズに応えた金融経済教育の機会を官民一体で全国的に提供する機関です。

問 22 あなたは「証券投資の日」をご存知ですか。(1つだけ) 【n=7,000】

1.	「証券投資の日」という名前を聞いたことがある	3.6
2.	はじめて聞いた	96.1

(NA:0.2)

## 【説明】NISA(ニーサ)(少額投資非課税制度)について

### ONISA(ニーサ)の概要

NISAは、2014年から導入された少額投資非課税制度です。通常、株式や投資信託などの金融商品に投資をした場合、これらを売却して得た利益や受け取った配当に対して20.315%の税金(復興特別所得税含む)がかかりますが、「NISA口座(非課税口座)」内で、一定金額の範囲内で購入した金融商品から得られる利益が非課税になります。

NISAは、2024年から制度の恒久化、非課税保有期間の無期限化、年間投資枠・非課税保有限度額の拡大などの制度改正が行われました。

#### ●新NISA(2024年以降のNISA)の制度概要

	成長投資枠	つみたて投資枠
制度期限	なし	
非課税保有期間	無期限	
年間投資枠	240万円/年	120万円/年
非課税保有限度額	1,800万円(成長投資枠はうち1,200万円まで)	
対象商品	上場株式・株式投資信託等※	長期の積立・分散投資に適した 一定の株式投資信託
買付方法	制限なし	定時・定額の積立投資
対象者	日本在住18歳以上	
その他	成長投資枠・つみたて投資枠は併用可能	

※①整理銘柄・監理銘柄、②信託期間20年未満、毎月分配型の投資信託及びデリバティブ取引を用いた一定の投資信託等を除外

#### ●旧NISA(2023年以前のNISA)の制度概要

	① 一般NISA	② つみたてNISA
制度期限	2023年まで	2023年まで
非課税保有期間	5年間	20年間
年間投資枠	120万円/年	40万円/年
非課税保有限度額	最大600万円	最大800万円
対象商品	上場株式・株式投資信託等	長期の積立・分散投資に適した 一定の株式投資信託
買付方法	制限なし	定時・定額の積立投資
対象者	日本在住18歳以上	
その他	①、②は選択制(年毎にいずれかの制度のみを利用できる)	

**【全員にお伺いします。】**

問 23 あなたは、「NISA(ニーサ)(少額投資非課税制度)」についてご存知ですか。(1つだけ)  
また、NISA口座で投資をしている方は、その投資額(現在保有している商品の取得価額の合計額)をお答えください。【n=7,000】

1. NISA口座を開設し、NISA口座で投資をしている	14.4	
<b>新NISA(成長投資枠)</b> →	→ 平均値 107.6 万円	
<b>新NISA(つみたて投資枠)</b> →	→ 平均値 35.3 万円	
<b>旧NISA(一般NISA)</b> →	→ 平均値 145.8 万円	
<b>旧NISA(つみたてNISA)</b> →	→ 平均値 48.2 万円	→ 問27へ
2. NISA口座を開設しているが、NISA口座で投資をしたことはない	3.9	→ 問24へ
3. NISAの内容を理解しており、今後、NISA口座を開設したい	3.7	→ 問27へ
4. NISAの内容を理解しているが、NISA口座を開設するつもりはない	5.5	→ 問25へ
5. NISAという言葉聞いたことがあり、興味を持っている	16.0	→ 問26へ
6. NISAという言葉聞いたことはあるが、興味はない	34.3	→ 問25へ
7. 知らない	21.8	→ 問27へ

(NA:0.3)

**【NISA口座を開設しているが、投資をしたことがない方に(問23で「2」に○印の方)】**

問 24 NISA口座を開設したものの、これまでNISA口座で投資をしなかった理由は何ですか。  
(いくつでも) 【n=274】

1. 市場動向により、投資時期を見極めているため	19.0
2. 投資商品を見極めているため	19.7
3. 投資する資金が確保できなかったため	18.2
4. 口座が開設されるまでの間に投資意欲がなくなってしまったため	13.1
5. 営業員からの勧誘がなかったため	5.5
6. 銀行にNISA口座を開設したが、株式に投資しようと考えているため	6.2
7. 投資の方法がよく分からないため	28.8
8. 口座開設キャンペーンの景品などを目的としていたため	8.0
9. その他(具体的に )	9.9

(NA:0.4)

※ 回答後、問27へお進みください。

**【NISA口座を開設するつもりはない、または、言葉は聞いたことあるが興味はない方に(問23で、「4」または「6」に○印の方)】**

問 25 NISA口座を開設するつもりはない、または、NISAに興味がない理由は何ですか。(いくつでも) 【n=2,787】

1. NISAについてよく分からないため	39.2
2. NISA口座の開設手続きが面倒であるため	11.8
3. NISA口座を開設すると、通常の口座との二重の管理が煩わしいため	6.3
4. NISAで投資する資金がないため	24.0
5. 持株会や相続など、NISA口座に受け入れることができない手段で取得した商品のみを保有しているため	0.4
6. 証券投資をするつもりがないため	53.8
7. その他(具体的に )	3.9

(NA:1.2)

※ 回答後、問27へお進みください。

**【NISA口座に興味を持っている方に（問23で、「5」に○印の方）】**

問26 NISA口座に興味はあるが、開設していない理由は何ですか。（いくつでも）【n=1,122】

1. NISA口座の開設手続きが面倒であるため	25.0
2. 投資したい金融商品がNISAの対象ではないため	1.4
3. NISA口座を開設すると、通常の口座との二重の管理が煩わしいため	8.6
4. 確定拠出年金（企業型やiDeCo（イデコ））などの他の制度を使って投資をしたいため	3.4
5. 投資の方法がよく分からないため	75.0
6. その他（具体的に	10.0

(NA:0.3)

**【全員にお伺いします。】**

問27 2024年1月からの新NISAの開始前後で、あなたの行動等はどう変化しましたか。あなたの行動に当てはまるものをお答えください。（いくつでも）【n=7,000】

1. 資産形成について興味を持ち始めた、又は、より興味を持つようになった	11.5
2. 資産形成について調べ始めた、又は、より積極的に調べるようになった	3.9
3. 資産形成に関するイベントやセミナーに参加するようになった、又は、より積極的に参加するようになった	0.4
4. 証券会社等の金融機関へ証券投資の問合せをするようになった、又は、より問い合わせる回数が増えた	0.7
5. 証券口座（NISA口座も含む）を開設した	3.5
6. NISA口座での投資を始めた	4.2
7. NISA口座以外での投資を始めた	0.7
8. 個別株投資を始めた	0.8
9. 積立投資を始めた	1.5
10. 投資方針を長期保有や分散投資を念頭に投資するようになった	0.8
11. 年間の投資金額を増額した、または増額する予定	2.2
12. その他（具体的に	0.6
13. 特に変化はない	81.0

(NA:0.3)

**【全員にお伺いします。】**

問28 あなたは、現在、確定拠出年金制度（注）に加入していますか。（1つだけ）【n=7,000】

1. iDeCo（イデコ）と企業型確定拠出年金の両方に加入している	1.3	→ <a href="#">問29へ</a>
2. iDeCo（イデコ）のみに加入している	2.5	→ <a href="#">問29へ</a>
3. 企業型確定拠出年金のみに加入している	5.6	→ <a href="#">問30へ</a>
4. いずれにも加入していない	90.5	→ <a href="#">問33へ</a>

(NA:0.1)

（注）確定拠出年金制度（いわゆる「日本版401k」）は、国民年金や厚生年金といった公的年金制度とは異なる私的年金制度であり、加入者や加入者が勤めている企業が資金を出して積立てを行い、その積立金を加入者自らが投資信託や預金などで運用し、運用の結果に応じた積立額を老後に受け取る制度です。確定拠出年金には、この制度を実施する企業に勤務する人が加入できる【企業型】と、自営業者・フリーランス、企業型DCに加入していない民間企業の従業員、公務員、専業主婦（夫）のほか、企業型DCに加入している人も要件を満たせば加入できる【個人型（iDeCo）】の2種類があります。

**【iDeCo（イデコ）に加入している方に（問28で、「1」または「2」に○印の方）】**

問29 iDeCo（イデコ）に加入した理由は何ですか。（いくつでも）【n=264】

1. 公的年金だけでは老後の生活が不安だから	54.5
2. 企業年金・退職金だけでは老後生活が不安だから	27.3
3. 勤務先がiDeCo+（イデコプラス・中小事業主掛金納付制度）を導入しているから	19.3
4. 老後にゆとりある生活を送るため自助努力により老後生活に備えたいと思ったから	23.5
5. 転職しても継続的に資産形成ができるから	7.6
6. 税制等の面で有利に資産形成できるから	27.7
7. 投資を始める良い機会だと思ったから	8.0
8. 金融機関に勧められて	6.8
9. 家族や知人に勧められて	9.5
10. その他（具体的に	1.5

(NA:0.0)

**【iDeCo（イデコ）、企業型確定拠出年金のいずれか又は両方に加入している方に（問28で、「1」～「3」のいずれかに○印の方）】**

問30 確定拠出年金の運用をどの商品で行うか自身で選択しましたか。（1つだけ）【n=657】

1. 自身で選択した	75.2
2. 自身では選択していない/自身で選択した憶えがない	23.1

(NA:1.7)

(注) 運用商品を選択しない場合、自動で設定される標準的な商品での運用または現金での管理が行われることとなります。

問31 現在、確定拠出年金の運用をどのような商品で行っていますか。（いくつでも）【n=657】

1. 元本確保型商品（定期預金、保険商品等）	35.0
2. 元本変動型商品（投資信託等）	47.8
3. 分からない	24.4

(NA:0.9)

問32 運用商品の選定にあたって、どのようなサポートがあるとよいと思いますか。なお、現在サポートを受けている場合は、実際に受けてみてよいと感じたものを含めて選んでください。（いくつでも）【n=657】

1. 長期・積立・分散投資などの投資方法や考え方に関する基本的な情報の提供	39.9
2. 運用商品の種類（株、債券、預金など）ごとの特徴や、運用商品の組み合わせ方（ポートフォリオとは何か）などの基本的な情報の提供	31.5
3. 自分に合った運用商品の種類（株、債券、預金など）のバランス（ポートフォリオ）に関する具体的なアドバイス	39.0
4. 自分に合った個別の運用商品に関する具体的なアドバイス	32.3
5. 運用商品を選択しなかった場合に自動で標準的な運用商品が設定される仕組み	8.8
6. 自分で運用商品を選べるため必要なサポートはない	15.4

(NA:2.0)

※ 回答後、問36へお進みください。

**【iDeCo(イデコ)、企業型確定拠出年金のいずれにも加入していない方に(問28で、「4」に○印の方)】**

問33 iDeCo(イデコ)への加入を検討していますか。(1つだけ)【n=6,337】

1. 加入を検討している	1.7
2. 加入を検討していないが、関心はある	14.8
3. 加入を検討したこともなく、関心もない	82.8

(NA:0.6)

問34 iDeCo(イデコ)に加入していない理由は何ですか。(いくつでも)【n=6,337】

1. iDeCo(イデコ)について聞いたことがなかったから	34.6
2. iDeCo(イデコ)は聞いたことがあるが、仕組みがよく分からないから	26.1
3. 資産形成のための余裕資金がないから	18.3
4. NISAを利用しており、iDeCo(イデコ)に回せる資金がないから	3.9
5. 老後に必要な資金を確保できている/資金の確保の目途がたっているから	3.1
6. 申込み手続きが煩雑だから	4.6
7. 金融機関を選ぶのが難しいから	4.3
8. 運用商品を選ぶのが難しいから	4.5
9. 一定の年齢に達するまで引き出すことができないから	6.7
10. 加入するための条件を満たしていないから	9.5
11. その他(具体的に )	7.9

(NA:2.0)

問35 今後、どのようになればiDeCo(イデコ)に加入したいと思いますか。(いくつでも)【n=6,337】

1. 制度の仕組みが分かるようになれば	24.8
2. 資金の余裕ができれば	25.2
3. 申込み手続きが簡素化されれば	7.8
4. 金融機関を選択しやすくなれば	2.3
5. 運用商品を選択しやすくなれば	2.4
6. 勤務先がiDeCo+ (イデコプラス・中小事業主掛金納付制度)を導入すれば	3.2
7. その他(具体的に )	2.0
8. 確定拠出年金に加入するつもりはない	54.3

(NA:1.5)

## 〔3〕証券会社についてお伺いします。

### 【全員にお伺いします。】

問 36 あなたが「証券会社」について、ご存知のことをお答えください。（いくつでも）【n=7,000】

1. 顧客の株式などの売買注文を証券取引所に取り次いでいる	48.2
2. 自ら株式などの売買を行っている	29.5
3. 公社債や投資信託を販売している	25.6
4. 企業の資金調達が円滑となるよう支援している	9.0
5. 投資セミナーを開催している	27.0
6. 資産形成や相続に関する相談業務を行っている	14.2
7. 「顧客本位の業務運営」の実現に向けた取組み（注2）を行っている	2.6
8. 顧客の金銭・有価証券を自社の固有資産と分けて分別管理している	4.6
9. 自己資本規制比率（注3）を維持しながら業務を行っている	3.0
10. 行政（証券取引等監視委員会など）や自主規制機関（日本証券業協会など）の検査を受けている	7.2
11. 上記の中で知っていることはない	39.8

(NA:0.1)

(注1) 1～6は、証券会社の業務の一例であり、各証券会社の業容により、行っていないこともあります。

(注2) 7は、金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」を踏まえ、証券会社においては、自ら「顧客本位の業務運営に関する取組方針」を定め、顧客本位の業務運営の実現に向けた取組みを行うこととしています。

(注3) 9の「自己資本規制比率」とは、証券会社の経営の健全性を測る指標であり、法令により120%を下回ることはないよう義務付けられています。

問 37 あなたは証券会社について、どのようなイメージをお持ちですか。（いくつでも）【n=7,000】

1. 積極的である	8.9	6. 将来性がある	5.5
2. 身近である	3.8	7. 勧誘がしつこい	13.6
3. 信頼できる	5.2	8. 敷居が高い	40.1
4. 社会の役に立っている	5.5	9. あまり信頼できない	27.4
5. 経済情報を発信している	22.8	10. その他（具体的に）	6.4

(NA:1.0)

問 38 現在、あなたは証券会社と取引していますか。（1つだけ）

また、取引している方はその会社数及び特定口座（注）を開設している会社数をお答えください。

【n=7,000】

1. 現在取引している → 平均値 1.4 社	14.9	
[そのうち特定口座 → 平均値 1.2 社]		→ 問 39 へお進みください。
2. 以前取引していたが、現在は取引していない	6.6	→ 問 41 へお進みください。
3. これまでに取引したことがない	78.3	→ 問 43 へお進みください。

(NA:0.2)

(注) 特定口座とは、上場株式や投資信託などで資産運用している個人投資家の譲渡損益についての納税手続を簡易にする証券会社の口座のことです。

**【現在、証券会社と取引している方に（問 38 で、「1」に○印の方）】**

問 39 取引している証券会社についてお伺いします。その証券会社を選んだ理由をお答えください。  
（いくつでも）【n=1,045】

1. 信用のある会社だから	36.0
2. 自宅や勤め先の近くにあるなど立地が便利だから	10.9
3. 家族・親戚・友人・知人が勤めているから	12.7
4. 営業員が良い情報を知らせてくれたから	7.3
5. 親しみやすい、または、信頼できる営業員がいるから	5.4
6. 家族・親戚・友人・知人が取引をしていたから	14.6
7. インターネット取引があるから	39.0
8. インターネット取引のサイトが使いやすいから	23.1
9. その会社でしか扱っていない商品やサービスがあるから	5.5
10. 売買手数料などが安い（無料）など、取引条件が良かったから	19.9
11. その他（具体的に	7.5

(NA:0.3)

問 40 あなたは、証券会社と主にどのような方法により取引をしていますか。（1つだけ）【n=1,045】

1. 店頭における営業員との対面（電話注文、営業員の訪問による注文を含む。）により取引をしている	34.0
2. パソコンやタブレットを利用してインターネット取引をしている	31.6
3. スマートフォンを利用してインターネット取引をしている	28.1
4. その他（具体的に	5.4

(NA:1.0)

※ 回答後、問 43 へお進みください。

**【証券会社と以前取引していたが、現在は取引していない方に（問 38 で、「2」に○印の方）】**

問 41 証券会社との取引をやめられたのはどのような理由からですか。（いくつでも）【n=461】

1. 以前損をした（または期待したような利益が得られなかった）から	43.4
2. 資金がなくなった（または現金が必要になった）から	28.6
3. 証券会社のサービス（営業員の説明、購入後のアフターフォローを含む）がよくなかったから	6.9
4. 証券会社と取引する時間がなくなったから	7.8
5. 担当していた営業員が代わったから	11.3
6. 証券会社や証券会社の担当者が信用できないから	4.6
7. 銀行、投信会社との証券取引に変更したから	6.1
8. 預金や保険など銀行や保険会社の金融商品による運用に変更したから	13.4
9. 金融商品保有額が目標とする額に達し、証券会社で運用する必要がなくなったから	6.1
10. その他（具体的に	9.5

(NA:0.4)

問 42 あなたは、今後どのような条件が整えば、証券会社との取引を再開することを考えますか。（いくつでも）【n=461】

1. 有価証券を購入する資金ができれば	18.2
2. 証券投資に関する知識が増えたら	9.1
3. 興味のある商品やサービスが提供されたら	8.7
4. 有価証券を購入する手続きが簡単になったら	3.3
5. 証券会社が自宅や勤務先の近くにできれば	1.5
6. 休日や平日夜間に投資相談ができるようになったら	2.4
7. 証券会社の手数料が下がったら	4.3
8. 信頼できる証券会社や証券会社の担当者ができれば	5.6
9. N I S A（少額投資非課税制度）が使いやすくなったら	4.3
10. その他（具体的に	4.8
11. 証券会社と取引するつもりはない	61.4

(NA:0.7)

## 〔4〕株式についてお伺いします。

### 【全員にお伺いします。】

問 43 「株式」に関する次の事柄のうち、あなたをご存知のことをお答えください。(いくつでも)【n=7,000】

1. 株式会社が事業資金の調達などのために発行するものである	45.4
2. 株式には取引所に上場しているものと上場していないものがある	52.2
3. 株主になると株主優待や配当金を受け取れることがある	62.9
4. 上場株式は、通常 100 株単位で取引が行われている	22.0
5. 一定の数量（単元）以上の株主には株主総会への出席や議決権の行使が認められる	30.8
6. 経営状態や資産価値を測る指標として P E R、P B R、R O E などがある	9.8
7. 株式累積投資や単元未満株取引（注）など少額で投資する方法もある	9.9
8. 公的年金は株式等で資産運用されている	17.2
9. 上記の中で知っていることはない	27.5

(NA:0.3)

(注) 株式累積投資とは、毎月少額で定時定額の積立てを行うものであり、単元未満株取引とは、単元株制度において 1 単元に満たない数の株式を取引する（例えば、1 株での取引など）ものです。

問 44 あなたは、これまでに株式（上場株・非上場株を含めて）を保有したことがありますか。（1 つだけ）  
また、現在保有している方は、保有銘柄数をお答えください。【n=7,000】

1. 現在持っている →	平均値 5.1	銘柄	14.1	→ 問 45 へお進みください。
2. 以前持っていたが、現在は持っていない			7.6	
3. これまでに持ったことがない			78.2	→ 問 48 へお進みください。

(NA:0.0)

### 【これまでに株式を持ったことがある方に（問 44 で、「1」または「2」に○印の方）】

（株式を現在は持っていない方は、持っていた当時のことについてお答えください。）

問 45 はじめてあなたが株式を購入したのは、どのようなきっかけからですか。(いくつでも)【n=1,522】

1. 証券会社に勧められて	17.7
2. 銀行に勧められて	5.3
3. 家族・親戚・友人・知人に勧められて	32.1
4. 相続で証券会社に口座を開設して	6.0
5. 株式に関する講演会を聞いて	1.7
6. まとまった資金ができて	12.8
7. 従業員持株会または役員持株会などに加入して	23.3
8. 株式投資を取り上げたテレビ番組を見て	3.9
9. 新聞・雑誌で株式投資に関する記事を見て	8.7
10. インターネットで株式投資に関する記事を見て	12.4
11. 証券会社の広告・ダイレクトメールなどを見て	1.0
12. N I S A（少額投資非課税制度）があることを知って	6.7
13. その他（具体的に	8.5

(NA:0.5)

問 46 あなたが株式を購入した理由をお答えください。(いくつでも) 【n=1,522】

1. 短期の値上がり益を期待して	30.0
2. 長期にわたっての資産運用として	35.6
3. 配当がもらえるから	51.8
4. 株主優待が受けられるから	35.6
5. その企業を応援できると考えたから	14.2
6. 株主総会でその企業に意見や質問ができるから	0.9
7. 従業員持株会または役員持株会などに加入したから	17.9
8. N I S A (少額投資非課税制度) で資産形成を始めようと思ったから	8.7
9. その他 (具体的に )	5.3

(NA:0.3)

問 47 あなたが株式投資で不満に思う、あるいは思ったのはどのようなことですか。(いくつでも) 【n=1,522】

1. 期待したほどの利益・配当がなかった	33.0
2. 証券会社からの情報提供が十分でなかった	8.5
3. 証券会社からの連絡に振り回された	3.9
4. 発行会社からの情報が十分でなかった	2.7
5. 手数料が高い	20.0
6. 手数料体系が複雑	6.5
7. 税金が高い	19.5
8. 値下がりで損をした	26.5
9. N I S A (少額投資非課税制度) の使い勝手が悪い	1.3
10. 夜間に売買を行うことができない	3.7
11. 株主優待または配当がなくなった/内容が変わった	8.4
12. その他 (具体的に )	2.0
13. 不満に思ったことはない	29.0

(NA:0.4)

※ 回答後、問 49 へお進みください。

【これまでに株式を持ったことがない方に (問 44 で、「3」に○印の方)】

問 48 あなたがこれまで株式を購入しなかったのは、どのような理由からですか。(いくつでも) 【n=5,476】

1. 配当が少なく利回りが低いから	1.4
2. 値下がりの危険がある (元本の保証がない) から	21.4
3. 株価の動きなどに神経を使うのが嫌だったから	15.8
4. 購入手続きが煩雑そうだから	13.2
5. 株式投資をするほどの資金がなかったから	25.6
6. 十分な知識をまだ持っていないと思った (どの銘柄を買ったらよいかわからなかった) から	26.5
7. 職場における株式売買ルールが厳しいから	0.6
8. 証券会社や証券会社の担当者が信用できないから	1.3
9. 株式市場に良いイメージがなかったから	4.5
10. 損をしたという人の話を聞いたから	12.7
11. ギャンブルのようなものだと思ったから	22.0
12. その他 (具体的に )	1.2
13. 株式に興味がないから	55.6

(NA:0.5)

## 〔5〕投資信託についてお伺いします。

### 【全員にお伺いします。】

問 49 「投資信託」に関する次の事柄のうち、あなたをご存知のことをお答えください。（いくつでも）  
【n=7,000】

1. 証券会社以外の金融機関（銀行や郵便局）でも購入できる	33.3
2. 分配金を受け取れることがある	30.9
3. 投資者から集めたお金をひとつの資金にまとめ、専門家が投資・運用するものである	24.5
4. 証券投資信託を大別すると、公社債投資信託と株式投資信託に分けられる	7.7
5. 取引所に上場し、上場株式と同様に売買ができる上場投資信託（ETF）がある	7.4
6. 投資する有価証券の種類、国・地域、通貨などを分けて投資（分散投資）することでリスクを減らすことができる	14.2
7. 少額でも可能な定時定額積立てにより投資する累積投資という方法もある	10.4
8. 上記の中で知っていることはない	50.4

(NA:0.5)

問 50 あなたは、これまでに投資信託を保有したことがありますか。（1つだけ）  
また、現在保有している方は、保有銘柄数をお答えください。【n=7,000】

1. 現在持っている → 平均値 3.0 銘柄	12.6	} → 問 51 へお進みください。
2. 以前持っていたが、現在は持っていない	4.7	
3. これまでに持ったことがない	82.6	→ 問 55 へお進みください。

(NA:0.1)

【これまでに投資信託を持ったことがある方に（問 50 で、「1」または「2」に○印の方）】  
（投資信託を現在は持っていない方は、持っていた当時のことについてお答えください。）

問 51 あなたは投資信託をどこで購入しますか。（いくつでも）【n=1,214】

1. 証券会社の店頭（電話注文、営業員の訪問による注文を含む）で	27.8
2. 証券会社のインターネット取引（パソコン、スマートフォン等）で	31.7
3. 金融機関の店頭（電話注文、営業員の訪問による注文を含む）で	34.9
4. 金融機関のインターネット取引（パソコン、スマートフォン等）で	11.2
5. 確定拠出年金制度で	7.2
6. その他（具体的に	2.1

(NA:0.6)

問 52 あなたは、投資信託を購入する際に、どのような点を考慮しますか。(いくつでも) 【n=1, 214】

1. 成長性や収益性の高さ	59.1
2. リスクの低さや安定性	64.7
3. 分配金の頻度や運用実績	28.5
4. 商品内容のわかりやすさ	19.5
5. 商品のコンセプト(環境に配慮した企業に投資しているなど)	8.8
6. 手数料や信託報酬の水準	28.5
7. 評価会社による評価	9.8
8. 純資産額の大きさ	12.9
9. その他(具体的に )	1.2
10. 特に考慮している点はない	6.1

(NA:0.7)

問 53 あなたが投資信託を購入した理由をお答えください。(いくつでも) 【n=1, 214】

1. 短期の値上がり益を期待して	14.3
2. 長期にわたっての資産運用として	61.1
3. 定期的に分配金が受け取れるから	25.1
4. 積立て投資ができるから	30.9
5. 比較的少額でも投資できるから	30.1
6. 分散投資ができるから	26.4
7. 投資信託の購入を通じて社会貢献ができると考えたから	2.1
8. 専門家の運用に期待できるから	11.0
9. 個別企業の研究や銘柄の知識収集に時間を費やす必要がないから	7.7
10. 株式に比べて安心なイメージがあるから	17.1
11. N I S A (少額投資非課税制度)で資産形成をしようと思ったから	24.2
12. 確定拠出年金制度で資産形成をしようと思ったから	5.3
13. 手数料・信託報酬が納得できる水準だったから	6.6
14. その他(具体的に )	3.6

(NA:1.1)

問 54 あなたが投資信託について不満に思う、あるいは思ったのはどのようなことですか。(いくつでも)

【n=1, 214】

1. 期待したほどの利益や分配金がなかった	28.4
2. 証券会社・金融機関からの情報提供が十分でなかった	8.1
3. 証券会社・金融機関からの連絡に振り回された	2.4
4. 手数料・信託報酬が高い	18.3
5. 手数料体系が複雑	8.7
6. 税金が高い	12.4
7. 証券会社・金融機関の品揃えが少ない	2.7
8. 値下がりして損をした	17.6
9. N I S A (少額投資非課税制度)の使い勝手が悪い	1.7
10. 似たような商品が複数あり、違いがよく分からない	17.5
11. その他(具体的に )	1.4
12. 不満に思ったことはない	31.8

(NA:0.9)

※ 回答後、問 56 へお進みください。

**【これまで投資信託を持ったことのない方に（問50で、「3」に○印の方）】**

問55 あなたがこれまで投資信託を購入しなかったのは、どのような理由からですか。

（いくつでも）【n=5,779】

1. 分配金が少ないから	2.0
2. 手数料や信託報酬が納得できる水準ではないから	2.0
3. 値下がりの危険がある（元本の保証がない）から	14.1
4. 投資信託の値動きなどに神経を使うのが嫌だったから	7.9
5. 購入手続きが煩雑そうだから	9.4
6. 投資信託を購入するほどの資金がなかったから	17.7
7. 商品の仕組みが複雑なため	7.2
8. 十分な知識をまだ持っていないと思った（どの銘柄を買ったらよいかわからなかった）から	21.3
9. 証券会社・金融機関の担当者が信用できないから	1.4
10. 損をしたという人の話を聞いたから	7.6
11. ギャンブルのようなものだと思ったから	15.9
12. その他（具体的に )	1.4
13. 投資信託に興味がないから	65.2

(NA:0.2)

## 〔6〕公社債についてお伺いします。

### 【全員にお伺いします。】

問 56 「公社債」に関する次の事柄のうち、あなたをご存知のことをお答えください。（いくつでも）

【n=7,000】

1. 国が発行する国債、企業が発行する社債などがある	41.2
2. 保有している間は、定期的に利子を受け取れ、満期日に元本が償還される	14.7
3. 元利金支払いの確実性（信用状態）を評価した格付けが格付機関により付されているものがある	6.4
4. 国債には、1万円から購入できる個人向け国債がある	13.6
5. 一定の公社債等の利子・償還差損益・譲渡損益は、上場株式等の配当金や譲渡損益と損益通算できる	3.3
6. 上記の中で知っていることはない	55.6

(NA:0.6)

問 57 あなたは、これまでに公社債（国債、地方債、社債、転換社債、金融債、仕組債など（外国で発行されたものを含む））を保有したことがありますか。（1つだけ）

また、現在保有している方は、保有銘柄数をお答えください。【n=7,000】

1. 現在持っている	→ 平均値 1.5 銘柄	2.3	} → 問 58 へお進みください。
2. 以前持っていたが、現在は持っていない		4.7	
3. これまでに持ったことがない		92.9	→ 問 61 へお進みください。

(NA:0.1)

### 【これまでに公社債を保有したことがある方に（問 57 で、「1」または「2」に○印の方）】

（公社債を現在は持っていない方は、持っていた当時のことについてお答えください。）

問 58 あなたは公社債をどこで購入しますか。（いくつでも）【n=486】

1. 証券会社の店頭（電話注文、営業員の訪問による注文を含む）で	42.8
2. 証券会社のインターネット取引（パソコン、スマートフォン等）で	11.1
3. 金融機関の店頭（電話注文、営業員の訪問による注文を含む）で	44.7
4. 金融機関のインターネット取引（パソコン、スマートフォン等）で	2.1
5. その他（具体的に	3.7

(NA:0.4)

問 59 あなたが公社債を購入した理由をお答えください。(いくつでも) 【n=486】

1. 預貯金に比べて利回りが有利だから	61.9
2. 比較的安全だから	67.3
3. 利息が途中で変わらないから	13.4
4. 比較的換金しやすいから	8.0
5. 手頃な金額でできるから	19.8
6. 公社債の購入を通じて社会貢献ができると考えたから	2.9
7. 償還日が資産運用期間として手頃だから	8.0
8. 抽選などによりプレゼントをもらえるから	1.0
9. その他(具体的に )	7.8

(NA:0.4)

問 60 あなたが公社債投資で不満に思う、あるいは思ったのはどのようなことですか。(いくつでも) 【n=486】

1. 期待したほどの利回りがなかった	31.3
2. 証券会社・金融機関からの情報提供が十分でなかった	6.8
3. 証券会社・金融機関からの連絡に振り回された	2.1
4. 気配や価格がよくわからない	7.8
5. 税金が高い	9.3
6. 購入したくてもすぐ売り切れてしまい、購入できなかった	4.1
7. 償還前に売却しづらい	8.2
8. 値下がりで損をした	6.0
9. N I S A (少額投資非課税制度) で購入できない	2.1
10. その他(具体的に )	2.3
11. 不満に思ったことはない	40.7

(NA:1.0)

※ 212 ページの「〔7〕最後にあなたの状況についてお伺いします。」へお進みください。

**【これまでに公社債を保有したことがない方に（問 57 で、「3」に○印の方）】**

問 61 あなたがこれまで公社債を購入しなかったのは、どのような理由からですか。（いくつでも）

【n=6, 504】

1. 利回りが低いから	5.0	
2. 値下がりの危険がある（元本の保証がない）から	6.3	
3. 公社債の値動きなどに神経を使うのが嫌だったから	4.2	
4. 購入手続きが煩雑そうだから	6.0	
5. 公社債を購入するほどの資金がなかったから	12.9	
6. 商品の仕組みが複雑なため	3.9	
7. 十分な知識をまだ持っていないと思った（どの銘柄を買ったらよいかわからなかった）から	17.1	
8. 証券会社や金融機関の担当者が信用できないから	0.7	
9. 損をしたという人の話を聞いたから	2.6	
10. ギャンブルのようなものだと思ったから	6.8	
11. N I S A（少額投資非課税制度）で購入できないから	0.8	
12. その他（具体的に	）	1.5
13. 公社債に興味がないから	73.1	

(NA:0.5)

※ 212 ページの「〔7〕最後にあなたの状況についてお伺いします。」へお進みください。

## 〔7〕最後にあなたの状況についてお伺いします。

### 【全員にお伺いします。】

F 1 あなたの性別は。(1つだけ) 【n=7,000】

1. 男性	48.1	2. 女性	51.9
-------	------	-------	------

(NA:0.0)

F 2 あなたの年齢は。(1つだけ)

1. 18～19歳	2.2	10. 60～64歳	6.6
2. 20～24歳	6.3	11. 65～69歳	8.0
3. 25～29歳	5.1	12. 70～74歳	8.5
4. 30～34歳	5.1	13. 75～79歳	6.7
5. 35～39歳	8.0	14. 80～84歳	7.4
6. 40～44歳	8.2	15. 85～89歳	2.9
7. 45～49歳	8.9	16. 90歳以上	0.5
8. 50～54歳	8.0		
9. 55～59歳	7.5		

(NA:0.0) [平均値] 53.6歳

F 3 配偶者について。(1つだけ) 【n=7,000】

1. あり	63.5	2. なし	35.4
-------	------	-------	------

(NA:1.1)

F 4 あなたのご職業は。(1つだけ) 【n=7,000】

1. 自営業主 (農林漁業、商工、サービス)	10.1	7. パート・アルバイト・フリーター	16.6
2. 自由業(開業医、弁護士など)	0.4	8. 専業主婦・専業主夫	11.4
3. 家族従業者(家業手伝い)	1.2	9. 無職・年金のみ	20.7
4. 常勤雇用(役員・管理職)	7.2	10. 学生	4.2
5. 常勤雇用(非管理職)	23.7	11. その他 (具体的に )	0.1
6. 契約社員・派遣社員	4.3		

(NA:0.0)

F 5 あなたの現在の主な収入源はどれでしょうか。(1つだけ) 【n=7,000】

1. 給与所得	55.3	4. 貯蓄の取り崩し	1.1	7. 特に収入はない	9.0
2. 事業所得	6.5	5. 家賃・地代	0.7	8. その他	0.4
3. 利子・配当	0.3	6. 恩給・年金	26.6	(具体的に )	

(NA:0.1)

F 6 あなたの年収(昨年1年間の税込み収入)はどの位でしょうか。(1つだけ) 【n=7,000】

1. 100万円未満	24.4	5. 400～500万円未満	8.4	8. 1,000～1,500万円未満	1.2
2. 100～200万円未満	19.6	6. 500～700万円未満	8.2	9. 1,500～2,000万円未満	0.2
3. 200～300万円未満	16.1	7. 700～1,000万円未満	4.4	10. 2,000万円以上	0.2
4. 300～400万円未満	10.6				

(NA:6.8) [平均値] 285.8万円

F 7 あなたが現在読んでいる新聞(電子版を含む)をお答えください。(いくつでも) 【n=7,000】

1. 朝日新聞	7.0	4. 産経新聞	1.4	7. スポーツ新聞	2.4
2. 読売新聞	10.6	5. 日本経済新聞	3.1	8. その他(具体的に )	3.4
3. 毎日新聞	2.2	6. 地方紙	20.4	9. 現在読んでいる新聞は特になし	54.7

(NA:0.1)

F 8 あなたのご家庭での世帯主との続柄をお答えください。(1つだけ) 【n=7,000】

1. 世帯主本人	50.0	4. 世帯主の親	1.6
2. 世帯主の配偶者	32.0	5. 世帯主の孫	0.4
3. 世帯主の子	15.5	6. その他(具体的に )	0.4

(NA:0.1)

F 9 あなたのご家庭(世帯)のお住まいは。(1つだけ) 【n=7,000】

1. 戸建の持ち家	73.6	4. 給与住宅(官舎、社宅)	0.7
2. その他の持ち家(マンションなど)	7.0	5. 間借り	0.6
3. 賃貸住宅(公社、民間など)	17.7	6. その他(具体的に )	0.4

(NA:0.1)

F 10 あなたのご家庭(世帯)のご家族の人数をお答えください。(1つだけ) 【n=7,000】

1. 1人(単身世帯)	12.7	4. 4人	22.2	7. 7人	0.8
2. 2人	29.6	5. 5人	9.8	8. 8人	0.2
3. 3人	21.3	6. 6人	3.1	9. 9人以上	0.1

(NA:0.3) [平均値] 3.0人

F 11 あなたの18歳未満のお子さん・お孫さん(働いているお子さん・お孫さんを除く)の人数を教えてください。(1つだけ) 【n=7,000】

1. 0人(いない)	61.3	3. 2人	15.8	5. 4人	2.2
2. 1人	12.1	4. 3人	5.6	6. 5人以上	1.9

(NA:1.2) [平均値] 0.8人

F 12 あなたのご家庭(世帯)のご家族全員の1年間の税込み収入(=世帯年収)はどの位でしょうか。

(1つだけ) 【n=7,000】

1. 100万円未満	2.8	6. 500~700万円未満	17.3
2. 100~200万円未満	7.2	7. 700~1,000万円未満	16.7
3. 200~300万円未満	11.3	8. 1,000~1,500万円未満	8.1
4. 300~400万円未満	10.9	9. 1,500~2,000万円未満	1.9
5. 400~500万円未満	10.7	10. 2,000万円以上	1.1

(NA:12.1) [平均値] 605.0万円